

2022年度 3Q決算

投資家様向け説明資料

2023年1月30日

オムロン株式会社

発表のポイント

■ 2022年度 3Q期間（10月-12月） / 累計（4月-12月）実績

- ・3Q期間（10月-12月）は、2Q期間に引き続き大幅な増収・増益を達成。
制御機器事業は、中国のコロナ感染拡大など、厳しい外部環境の変化を乗り越え、大幅な増収・増益を達成。
- ・3Q累計（4月-12月）の全社実績は過去最高の業績を達成。
セグメント別では、制御機器事業が2桁を超える増収・増益を達成。社会システム事業・電子部品事業も引き続き好調に推移。
ヘルスケア事業は、インフレによる消費減速・中国でのコロナ影響を受け売上成長は減速。

■ 2022年度 通期業績見通し

- ・4Qの事業環境は、グローバル経済の減速により、不透明感が高まると認識。
- ・通期業績見通しは、制御機器事業が高水準の受注残を背景に、4Qも好調に推移することや、その他のセグメントも前回の見通し通りに推移することから、前回上方修正した見通しを据え置く。
- ・4Q期間の為替レートを円高方向に修正したものの、十分に達成可能。
- ・年間配当予想は期初の計画通り、前年度から6円増配の98円とする。また自己株式について1月に200億円の取得が完了。

■ 新体制について

- ・次年度より経営体制を変更。
- ・CEO・CFOの交代に加えCHROを新たに選任。CTOを加えた4名のCXO体制へ移行。
- ・また、各ビジネスカンパニー長は、4事業全てを新たなトップへ交代。

目次

- 1. 2022年度 3Q実績** **… P.3～10**
- 2. 2022年度 通期見通し** **… P.11～15**
- 3. 新体制について** **… P.17～19**
- 4. CFOメッセージ** **… P.20～24**

1. 2022年度 3Q実績

3Q期間（10月-12月）：全社実績

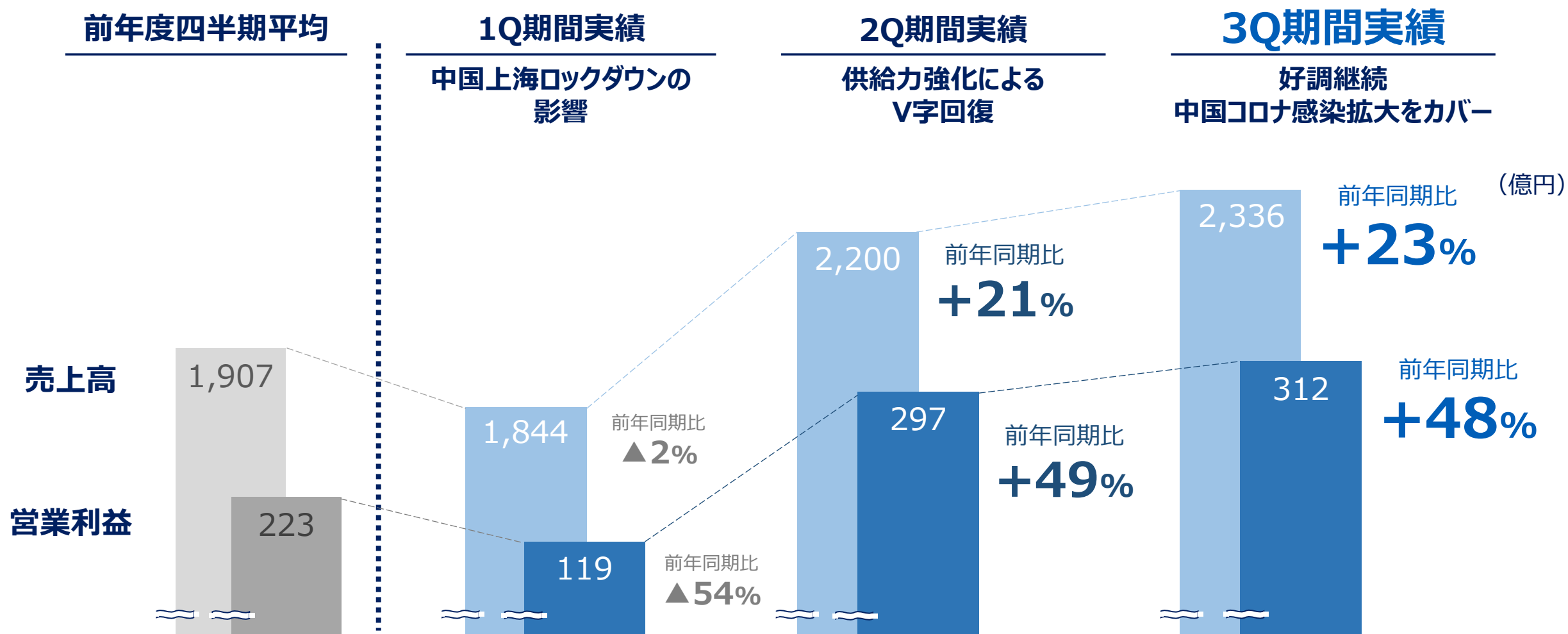
3Q期間は、売上・営業利益ともに大幅な増収・増益。四半期として過去最高益を達成

(億円)

	2021年度 3Q期間実績	2022年度 3Q期間実績	前年 同期比
売上高	1,893	2,336	+23.4%
売上総利益 (売上総利益率)	858 (45.3%)	1,053 (45.1%)	+22.8% (△0.2P)
営業利益 (営業利益率)	211 (11.2%)	312 (13.4%)	+47.8% (+2.2P)
当期純利益	123	226	+84.3%
米ドル 平均レート (円)	113.1	144.0	+30.9
ユーロ 平均レート (円)	130.3	144.5	+14.2
人民元 平均レート (円)	17.6	20.1	+2.4

四半期の実績推移

1Qの上海ロックダウン影響をカバーし、2Q以降力強い売上・利益成長が継続



3Q累計（4月-12月）：全社実績

売上は2桁を超える増収となり、3Q累計として過去最高業績を達成

(億円)

	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比
売上高	5,586	6,380	+14.2%
売上総利益 (売上総利益率)	2,564 (45.9%)	2,868 (45.0%)	+11.9% (△0.9P)
営業利益 (営業利益率)	669 (12.0%)	729 (11.4%)	+9.0% (△0.5P)
当期純利益	448	505	+12.7%
米ドル 平均レート (円)	111.0	135.7	+24.7
ユーロ 平均レート (円)	130.8	140.3	+9.5
人民元 平均レート (円)	17.2	19.8	+2.6

3Q累計（4月-12月）：セグメント別実績

制御機器事業は増益に転換。電子部品事業は高い売上・利益成長を実現

(億円)

	売上高			営業利益		
	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比
制御機器事業 (IAB)	3,106	3,591	+15.6%	579 (18.6%)	645 (18.0%)	+11.4% (△0.7P)
ヘルスケア事業 (HCB)	1,011	1,067	+5.6%	162 (16.0%)	131 (12.3%)	△19.3% (△3.8P)
社会システム事業 (SSB)	552	639	+15.6%	△9 -	△2 -	- -
電子部品事業 (DMB)	892	1,050	+17.7%	82 (9.2%)	135 (12.8%)	+64.1% (+3.6P)
本社他 (消去調整含む)	25	33	+30.9%	△145	△179	-
合計	5,586	6,380	+14.2%	669 (12.0%)	729 (11.4%)	+9.0% (△0.5P)

*営業利益の表にある（）は、営業利益率を示しています。

*制御機器事業の一部商品を電子部品事業に組み替えて表示しています。

制御機器事業（IAB） エリア別成長率

中華圏の売上減を他のエリアでカバー。
米州では、EV・半導体の需要を掴み、他のエリアの中で最も高い成長率を達成

2021年度→2022年度 売上高成長率（3Q累計前年同期比・為替影響除く）

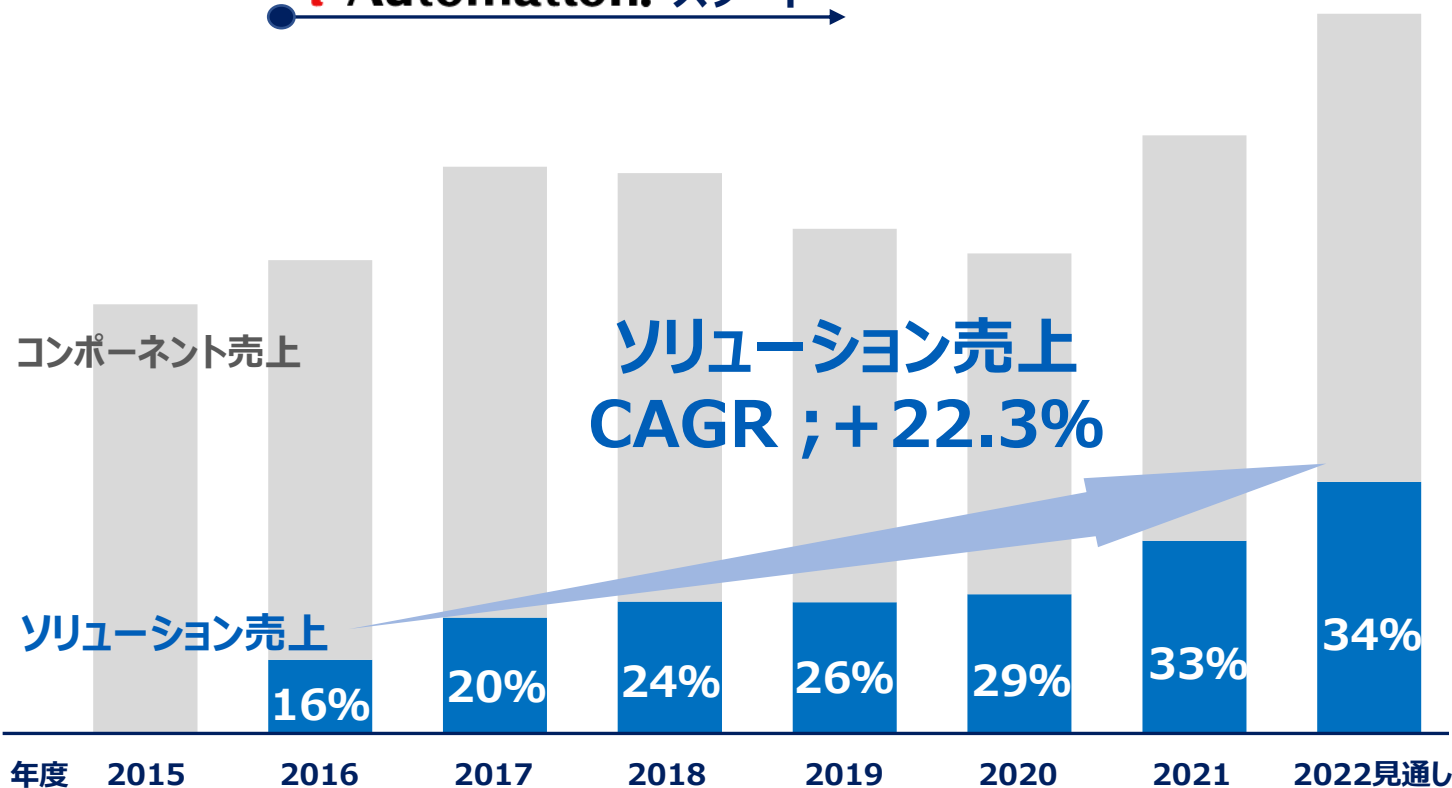
日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア他
+9%	+17%	+9%	△1%	+11%

制御機器事業（IAB） ソリューションビジネスの拡大

2016年度以降、ソリューションビジネスは年々拡大しており、
制御機器事業の売上・利益成長のドライバーとなっている

ソリューション売上構成比率の推移

i-Automation! スタート



制御機器事業の業績パフォーマンス (2022年度見通し)

売上成長
CAGR ; +7.2%

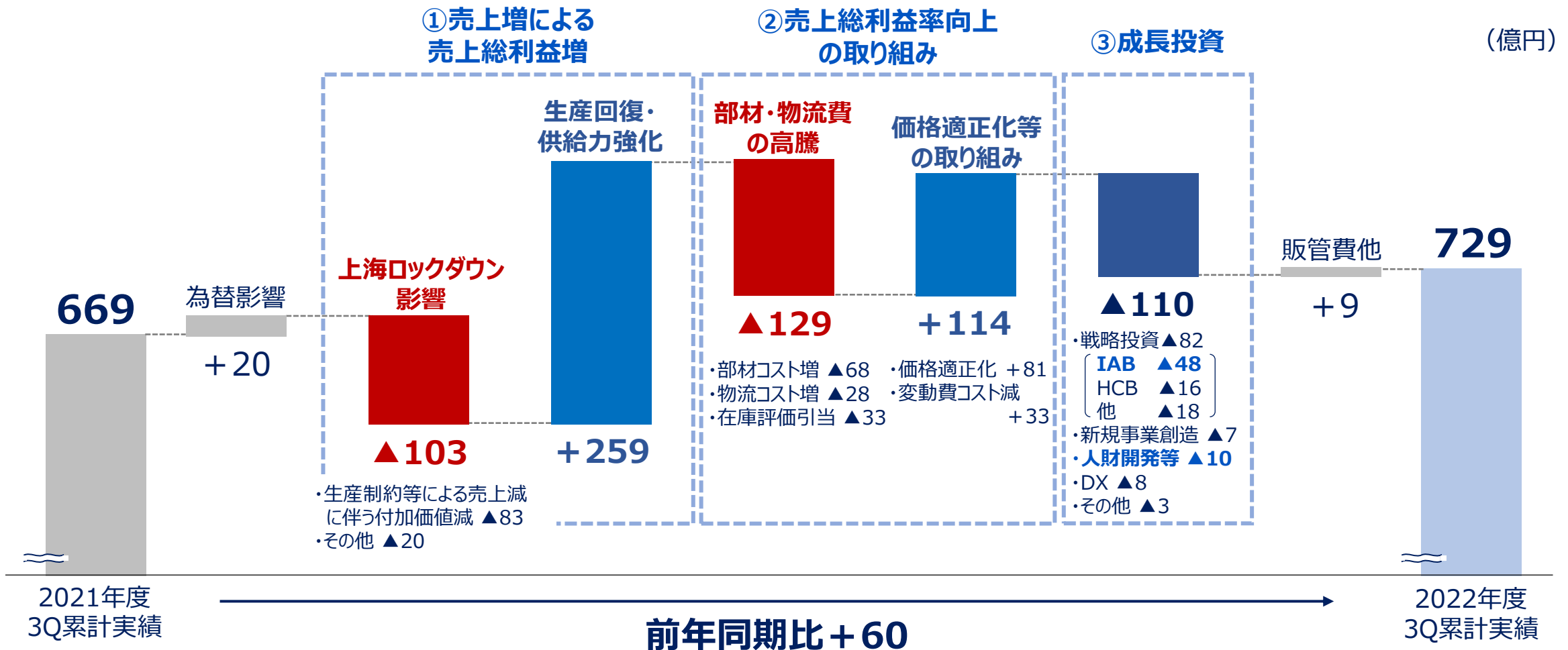
(FY16~FY22見通し)

営業利益率
14.3% → 18.5%
(+4.2P)

(FY15比)

3Q累計（4月-12月） 営業利益増減 前期との比較

供給力強化に伴う増収に加え、価格適正化等により部材・物流費高騰の影響を最小化。
成長投資も継続しながらも、前年同期比+60億円の利益増



2. 2022年度 通期見通し

セグメント別 事業環境認識

**グローバル経済の減速により、事業環境は不透明感が高まると認識。
各事業領域においては需要の濃淡がみられる**

制御機器事業 (IAB)	<p>デジタル：半導体は用途別に濃淡がみられるものの、全体的な投資ペースは鈍化。再エネ(PV)は高位継続。 環境モビリティ：EV関連投資や二次電池投資は、堅調。 食品・日用品：インフレによる消費需要減退を受け、投資は縮小。脱プラ関連投資は堅調。 医療：ワクチンなどのコロナ特需が一服。高齢化による医薬品需要の高まりを受けた設備投資は継続。 物流：倉庫新設に伴う設備投資は停滞継続。倉庫労働者不足による自動化投資は拡大。</p>
ヘルスケア事業 (HCB)	<p>循環器：インフレによる個人消費への影響から、血圧計需要は停滞。 呼吸器：中国でのコロナ禍に加え、中南米やアジア、欧州での行動制限の緩和により、需要は拡大。 遠隔診療：欧米を中心に需要は引き続き堅調。</p>
社会システム事業 (SSB)	<p>エネルギー：電力の逼迫・価格高騰や、省エネ促進に向けた補助金の継続により需要堅調。 マネジメント・サービス：人手不足により、アナログ点検からIT活用による点検への見直しが堅調に推移。 鉄道業界：輸送人員の増加を受けて、鉄道業界各社の設備投資は、回復傾向が継続。</p>
電子部品事業 (DMB)	<p>DC(直流)機器：グローバルで需要に濃淡がみられるなか、EVや再エネは引き続き堅調。 高周波機器：メモリ半導体の需要は停滞するが、半導体検査装置関連は堅調維持。</p>

2022年度 通期見通し

上期決算で上方修正した通期見通しを据え置く

(億円)

	2021年度 実績	2022年度 見通し	前年度比
売上高	7,629	8,800	+15.3%
売上総利益 (売上総利益率)	3,468 (45.5%)	3,965 (45.1%)	+14.3% (△0.4P)
営業利益 (営業利益率)	893 (11.7%)	950 (10.8%)	+6.4% (△0.9P)
当期純利益	614	645	+5.0%
米ドル 平均レート (円)	112.1	133.0	+21.0
ユーロ 平均レート (円)	130.5	139.0	+8.5
人民元 平均レート (円)	17.4	19.6	+2.2

*4Q期間の前提為替レートを変更しています。

米ドル：140→125円、ユーロ：140→135円、人民元：20.0→19.0円

セグメント別 通期見通し

セグメント別売上・営業利益も通期見通しを据え置く

(億円)

	売上高			営業利益		
	2021年度 実績	2022年度 見通し	前年度比	2021年度 実績	2022年度 見通し	前年度比
制御機器事業 (IAB)	4,181	5,030	+20.3%	763 (18.2%)	930 (18.5%)	+22.0% (+0.3P)
ヘルスケア事業 (HCB)	1,329	1,430	+7.6%	185 (14.0%)	150 (10.5%)	△19.1% (△3.5P)
社会システム事業 (SSB)	877	960	+9.5%	65 (7.4%)	50 (5.2%)	△23.1% (△2.2P)
電子部品事業 (DMB)	1,210	1,350	+11.6%	101 (8.3%)	120 (8.9%)	+19.0% (+0.6P)
本社他 (消去調整含む)	33	30	△9.1%	△221	△300	-
合計	7,629	8,800	+15.3%	893 (11.7%)	950 (10.8%)	+6.4% (△0.9P)

*営業利益の表にある () は、営業利益率を示しています。

*制御機器事業の一部商品を電子部品事業に組み替えて表示しています。

株主還元について

期末配当・年間配当予想は前回予想通りの49円・98円。
7月公表の自己株式取得は1月11日に上限に達し、200億円分の取得を完了

配当	期末配当 (予想) 49円 〔 21年度比 3円増配 〕	年間配当 (予想) 98円 〔 21年度比 6円増配 〕
自己株式 取得	取得完了 (2023年1月11日) 200億円 (286万株)	〔 7月26日公表の取得枠 金額 : 200億円 (上限) 株式数 : 330万株 (上限) 取得期間 : 2022年7月27日~2023年3月31日 〕

ESG社外評価やインデックス

主な社外評価

DJSI World

6年連続

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

**EcoVadis社
サステナビリティ調査**

**Platinum
(上位1%)**



CDP
(旧: Carbon
Disclosure Project)

**気候変動「A」
水セキュリティ「A」**



選定されている主要なESGインデックス

<グローバル>

- ✓ DJSI World 6年連続選定
- ✓ FTSE4Good Index Series 7年連続選定
- ✓ MSCI ESG Leaders Indexes 8年連続選定
- ✓ MSCI SRI Indexes 6年連続選定
- ✓ STOXX Global ESG Leaders Indices 7年連続選定

<国内>

- ✓ FTSE Blossom Japan Index 6年連続選定
- ✓ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 初選定
- ✓ MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 6年連続選定
- ✓ MSCI 日本株 女性活躍指数 6年連続選定
- ✓ S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数 5年連続選定

3. 新体制について

23年度以降の新体制



取締役会長
取締役会議長

山田義仁
(61)



代表取締役社長 CEO

辻永順太
(56)



代表取締役副社長 CTO

宮田喜一郎
(62)



執行役員専務 CHRO
兼 グローバル人財総務本部長

冨田雅彦
(56)



執行役員常務 CFO
兼 グローバル戦略本部長

竹田誠治
(55)

* 2023年6月に開催予定の第86期定時株主総会および取締役会にて決議予定
* () は2023年4月1日時点の年齢

4事業の新たな経営メンバー

SF2030実現に向け、若きリーダーが各事業を力強く牽引していく

制御機器事業



執行役員常務
インダストリアルオートメーション
ビジネスカンパニー社長

山西 基裕
(48)

ヘルスケア事業



執行役員常務
オムロン ヘルスケア株式会社
代表取締役社長

岡田 歩
(50)

社会システム事業



執行役員常務
オムロン ソーシャルソリューションズ
株式会社 代表取締役社長

四方 克弘
(52)

電子部品事業



執行役員常務
デバイス&モジュールソリューションズ
カンパニー社長

江崎 雅彦
(52)

執行役員
インダストリアルオートメーション
ビジネスカンパニー 商品事業本部長

執行役員
オムロン ヘルスケア株式会社
執行役員 経営統轄部長

執行役員
オムロン フィールドエンジニアリング株式会社
代表取締役社長

執行役員
デバイス&モジュールソリューションズカンパニー
事業統轄本部長

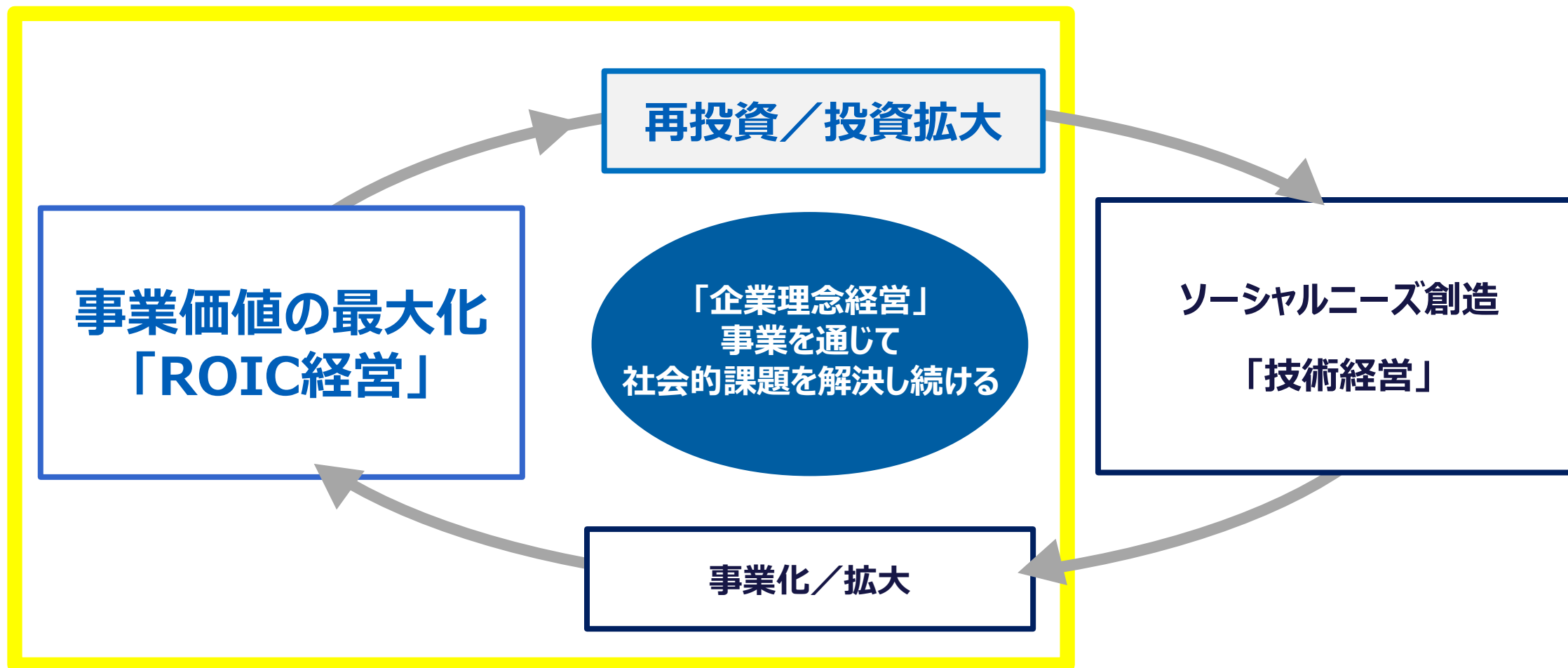
* 2023年3月21日付で就任

* () は2023年4月1日時点の年齢 19

4. CFOメッセージ

企業価値の最大化に向けて

オムロンの企業価値最大化のサイクル



ROIC経営の実践とSF2030の成長を支えるCF基盤

VGでのROIC経営の実践

ポートフォリオ
マネジメント

ROIC逆ツリー
の展開

オムロンの強固なCF基盤（FY16→FY22見込み）

①	絞り込まれた事業セグメント構成 （事業ポートフォリオ）	事業セグメント数 9→4
②	収益性の高い商品群への絞り込み （商品ポートフォリオ）	総セグメント数* 86→62
③	IAB事業の成長、ソリューション比率拡大	ソリューション売上構成比率 +18P
④	利益成長を強固にする稼ぐ力	GP率 +5.8P
⑤	ROIC10%以上の事業セグメント	全4事業セグメント

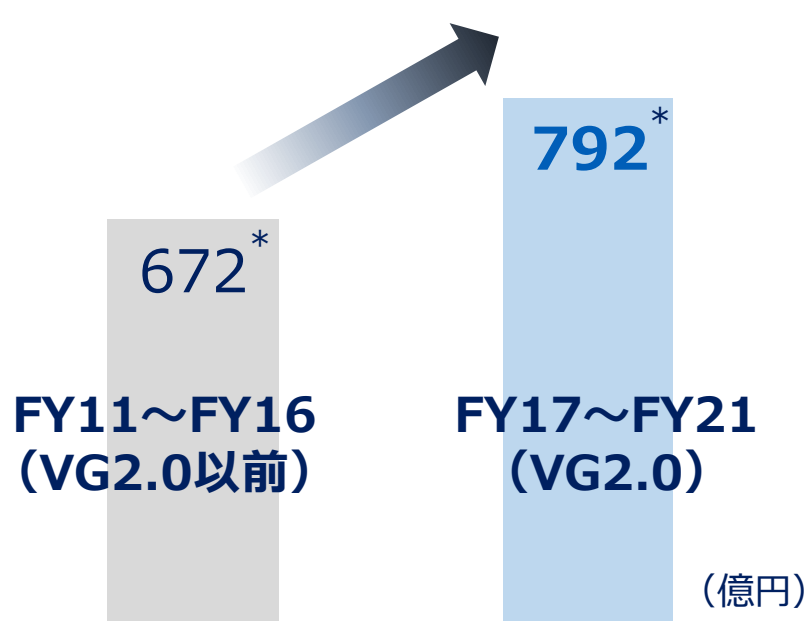
*商品群のみFY21実績

企業価値向上への結実

ROIC経営により創出されたキャッシュは、事業拡大・株主還元強化を通じ、企業価値向上に繋がる

CF創出力の向上

営業CF創出力
+120億円（約1.2倍）



*同期間における単年度営業CFの平均値

事業拡大の実現と株主還元

事業拡大の実現 (CAGR FY16→FY22見込み)

IAB売上成長

+7%

SSB売上成長

+1%

HCB売上成長

+6%

DMB売上成長

+6%

株主還元強化 (FY16→FY22見込み)

●安定的かつ継続的な配当

+30円

(2017/3期:68円→2023/3期:98円)

●機動的な自己株式取得

累計1,100億円

企業価値向上

TSR
+42%*

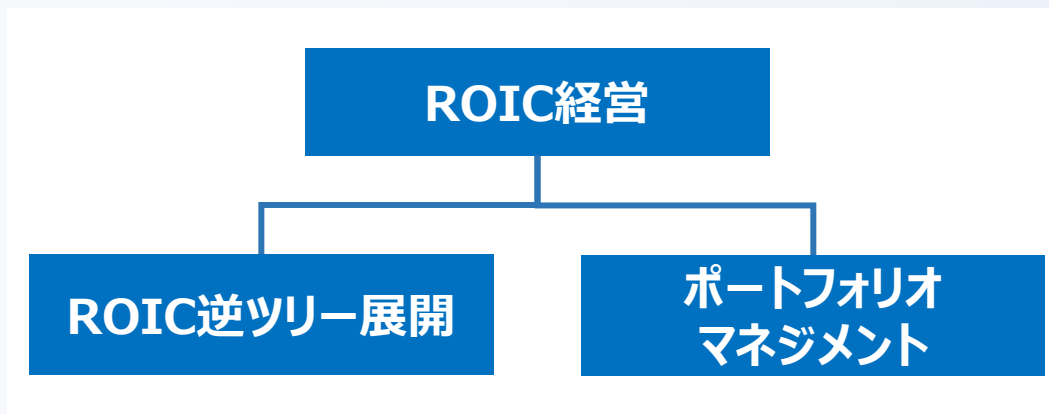
(2017/3末
→2022/12末)

*TSRには22年度の
年間配当予想98円を含む

SF2030での飛躍に向けて

長期ビジョン SF2030

“CF最大化を支えるメカニズム”

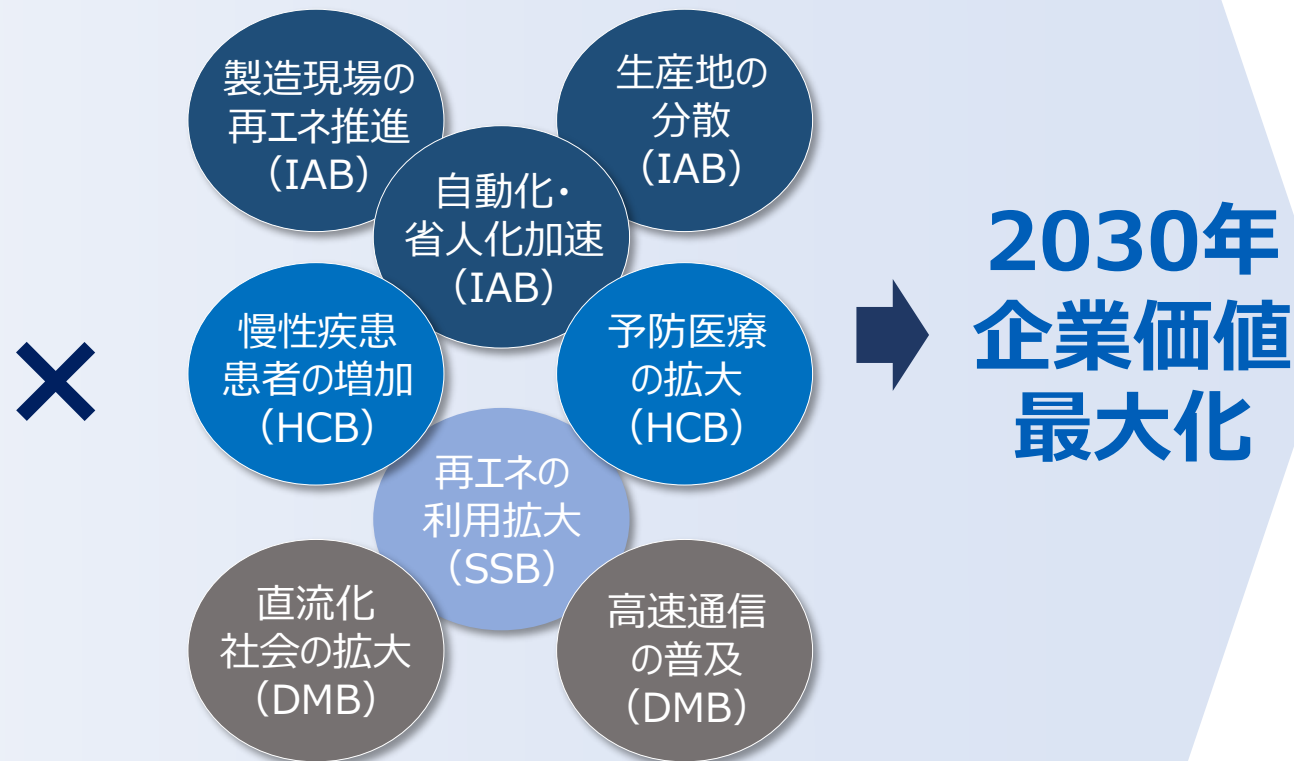


“熱意にあふれたプロフェッショナル人材”



- 能力を最大発揮する人財制度
- 成長意欲ある人財への継続的な投資

“SF2030で捉えた多くの成長機会”



OMRON

参考資料

連結貸借対照表

(億円)

	2022年3月末	2022年12月末	前年度末差
流動資産	4,829	4,679	△150
(現金及び現金同等物)	(1,555)	(876)	(△679)
(たな卸資産)	(1,419)	(1,874)	(+455)
有形固定資産	1,221	1,237	+16
投資その他の資産	3,256	3,529	+273
資産の部合計	9,306	9,445	+138
流動負債	2,117	1,882	△235
固定負債	510	447	△63
負債の部合計	2,627	2,329	△298
株主資本	6,652	7,089	+437
非支配持分	27	27	△1
純資産の部合計	6,680	7,116	+436
負債及び純資産合計	9,306	9,445	+138
株主資本比率	71.5%	75.1%	+3.6P

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年同期差
営業活動によるキャッシュ・フロー (営業CF)	473	202	△271
投資活動によるキャッシュ・フロー (投資CF)	△240	△386	△147
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	233	△184	△417
財務活動によるキャッシュ・フロー (財務CF)	△496	△568	△72
期末の現金残高	2,352	876	△1,477
設備投資	207	284	+77
減価償却費	174	198	+24

為替感応度（期初時点の想定）と為替前提

1円変動（人民元は0.1円）による影響額（通期）

	為替感応度		為替前提
	売上高	営業利益	2022年度 4Q為替前提
米ドル	約18億円	約1億円	125円
ユーロ	約9億円	約4億円	135円
人民元	約10億円	約3億円	19.0円

*新興国通貨などが、主要通貨に対して期初想定通りに連動しなかった場合、感応度に影響を与えます。

主要ESGインデックスへの組み入れ（2023年1月現在）

<オムロンが選定されているESGインデックス >

- ✓ DJSI World **6年連続選定**
- ✓ FTSE4Good Index Series **7年連続選定**
- ✓ MSCI ESG Leaders Indexes **8年連続選定**
- ✓ MSCI SRI Indexes **6年連続選定**
- ✓ STOXX Global ESG Leaders Indices **7年連続選定**
- ✓ FTSE Blossom Japan Index **6年連続選定**
- ✓ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index **初選定**
- ✓ MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 **6年連続選定**
- ✓ MSCI 日本株 女性活躍指数 **6年連続選定**
- ✓ S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数 **5年連続選定**

*オムロンでは、CDP気候変動・水に関する調査を含むESG評価機関による調査など、多くの外部からの調査に協力し、情報を開示しています。
2022年度評価：気候変動「A」、水セキュリティ「A」

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCI JAPAN
ESG SELECT LEADERS INDEX

2022 CONSTITUENT MSCI JAPAN
EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)



CLIMATE WATER

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

社外からの評価（2023年1月現在）

<ESG関連表彰・銘柄選定>

S&Pグローバル社選定

- ✓ S&P サステナビリティアワード シルバークラス

EcoVadis社選定

- ✓ サステナビリティ調査 プラチナ

一般社団法人 日本取締役協会 主催

- ✓ コーポレート・ガバナンス・オブ・ザ・イヤー2018 経済産業大臣賞 **2018年度受賞**

環境省 主催

- ✓ 平成30年度 地球温暖化防止活動大臣表彰 「対策活動実践・普及部門」を受賞 **2018年度受賞**

日本経済新聞社 主催

- ✓ 日経SDGs経営大賞 「SDGs戦略・経済価値賞」を受賞 **2019年12月受賞**
- ✓ 日経SDGs経営大賞 「SDGs戦略・社会価値賞」を受賞 **2022年11月受賞**

経済産業省・東京証券取引所 選定

- ✓ 企業価値向上表彰 大賞 **2014年度受賞**
- ✓ なでしこ銘柄 **2017年度より5年連続選定**
- ✓ 健康経営銘柄 **2018年度より4年連続選定**
- ✓ 健康経営優良法人～ホワイト500～ **2016年度より6年連続選定**

日本経済新聞社 選定

- ✓ 日経225 **2019年3月 初選定**

Sustainability Award
Silver Class 2022

S&P Global



ROIC逆ツリー展開 (2.0)

事業戦略



KPI

注力業界/注力事業売上
 サービス/リカーリング売上
 新商品売上
 コトビジネス契約顧客数
 革新アプリ数
 標準部品搭載率
 CD率/失敗コスト率

一人当り生産台数
 自動化率 (省人数)

人的創造性
 間接部門人員数
 ITコスト/ファシリティコスト

生産LT
 不動在庫額
 滞留債権額

設備投資額
 M&A投資によるシナジー効果

改善ドライバー

売上総利益率

付加価値率

製造固定費率

販管費率
 R&D率

運転資金回転率

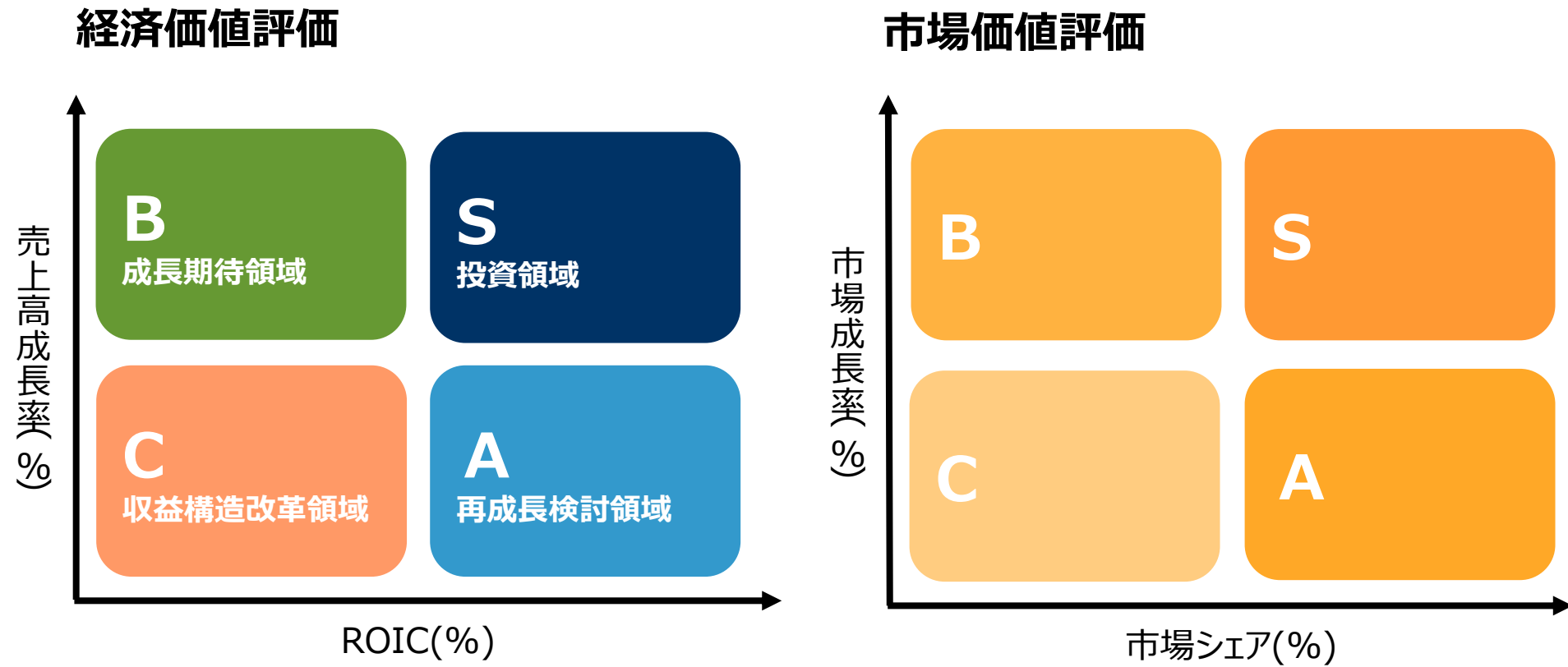
固定資産回転率

ROS

投下
 資本
 回転率

ROIC

事業ポートフォリオマネジメント



ROIC計算式

<連結貸借対照表>

科目	年 月 末
資産の部	
流動資産	
…	
…	
有形固定資産	
…	
投資その他の資産	
…	
負債の部	
流動負債	
短期債務	
…	
…	
…	
純資産の部	
株主資本	
…	
…	
…	
純資産の部合計	
負債及び純資産合計	

$$\text{ROIC} = \frac{\text{当社株主に帰属する当期純利益}}{\text{投下資本}}$$

$$\text{投下資本} = \text{純資産} + \text{有利子負債}$$

※投下資本は、前年度末実績および当年度の各四半期毎の実績または見通しを平均して算出。

2021～2024年度の想定資本コスト：5.5%

<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

< I R に関するお問い合わせ >

オムロン株式会社

グローバルインベスター & ブランドコミュニケーション本部 IR部

E-mail : omron-ir@omron.com

Webサイト : www.omron.com/jp/ja/